西小倉地域小中一貫校開校準備委員会　次第

日　時　：令和６年１０月１６日（水）１９時
場　所　：西小倉小学校ランチルーム

教育目標
互いに尊重し合い　主体的に行動し　未来を切り拓く児童生徒の育成
～学び　つながり　しなやかに～
目指す児童生徒像
自ら学び　考える人　　他者と対話し　つながる人　しなやかに　行動する人
～We are the Leaders～

１　開会

２　第２回　委員会意見の振り返り

３　カリキュラム・ポリシーについて

４　専門部会の設置について

（専門部会毎の打合せ）

５　報告事項
・校名公募の状況について
・子(こ)どもまん中(なか)委員会について
・ワーキンググループ（学校内）について

６　閉会

【資料】
資料①　第２回　委員会意見の振り返り
資料②　専門部会の設置について
資料③　子(こ)どもまん中(なか)委員会について
資料④　ワーキンググループ（学校内）について

未来創造型会議（OECDの会議のルール）

みんなのるーる　Rules for everybody

沈黙を歓迎する
Welcome silence and pauses

否定も断定もしない
Neither deny nor assert

お互いの顔色伺いをしない！
Do not seek for each other' approval

心の変容を許す。
考えが変わることもある。
Allow yourself and others to change
It's possible that we experience change in what or how we think

耳を澄ませて聴く。
Listen to others

立場や年齢に拘らない。
Don't be concerned with the person's position and/or age

「わからない」と言える雰囲気づくり
わかったふりをしない
Create a safe space to say "I don't know"
Don't pretend to understand

（結果にとらわれず）対話を楽しむ！
違い(違う意見)を楽しむ！
Enjoy the dialogue (regardless of results)!
Enjoy differences (in opinions)!
→Enjoying will enhance your well-being!

1

	開校準備委員会や地域と一緒に	学校や教育委員会へ	専門部会へ
学校生活		みんな仲良し 先生も仲良し 成功が目標になる、認める 楽しい学校生活 元気いっぱい 図書や新しいことへ期待＝先生と保護者のすり合わせ 学校は子どもの「生活空間」リラックスできる場所 疲れた時にホッとできる空間、時間 ランチを一緒に、学食 オーダー制の学校給食 畑などで作ったもので調理（食育） 部活強化、部活動の充実 複数部活に所属 クラブ、同好会のようなものが作れる学校 ９年生のスポーツクラブ 小学校6年生から部活動 小学生が中学のクラブに参加（高学年） 中学生によるスポーツレクチャー 休み時間の音楽発表 休み時間は学年関係なく楽しむ 学年を越えて仲が良いところを伸ばした取組み 楽しく一人一人の存在感がある、温かい受け止めがある 学校へ来る楽しみがある 縦割り活動 動物の飼育を通して命の尊さを学ぶ 巨椋池ゆかりの動植物の飼育栽培	
		中学生の制服をなくす	
	ボランティアが放課後に一緒に過ごす		

<table>
<tr><th></th><th>開校準備委員会や
地域と一緒に</th><th>学校や教育委員会へ</th><th>専門部会へ</th></tr>
<tr><td rowspan="2">学校行事</td><td></td><td>皆で体育祭
学祭
前期、中期、後期別の体育祭（運動会）
文化祭、学園祭をプロデュース
中庭でコンサート
子どもが企画する、編集する運動会
体験活動
特技を披露する
リレー対決（小学生と中学生）
生徒が修学旅行を考える
１～９年生が絡める行事
小中の文化祭統一
思いやりを育む
集団の中で一人一人の良さが感じられる行事
小中の交流行事の充実
地域にもお知らせして見学できるように</td><td rowspan="2"></td></tr>
<tr><td colspan="2">地域の人と行事を作る
地域一体
音楽祭の開催
音楽イベントに使用
地域の関係者が参加できる学園祭</td></tr>
</table>

<table>
<tr><th></th><th>開校準備委員会や
地域と一緒に</th><th>学校や教育委員会へ</th><th>専門部会へ</th></tr>
<tr><td rowspan="2">教育課程</td><td></td><td>伸び伸び遊べる休み時間
通知表のない学校
わかる授業
子ども主体の授業
宿題を無くして自主性
選べる宿題
参観をする（小⇔中、児童生徒同士）
放課後の自習室、宿題ルーム
子どもが子どもを教える学校
小学校の先生と中学校の先生が授業を持ち合う
子ども先生の授業⇒親や先生へ
児童生徒が先生になって授業
中学生から小学生への指導、学び
一人一人の興味関心、知識、知りたい意欲等が受け入れられる
個別の子どもの状況にあわせた学習環境
何らかの分野のトップの方の授業
大学からの出張授業、企業との連携
小中の校時を合わせる工夫
選択授業、時間割
小学校の教科担任制の充実
ほめる（先生から、友達同士）
得意分野発見
自分の好きなこと、発表できる事業
ノーチャイム（日を作る）
国語（読書活動）
習得と活用、基本、補修、学力向上
やる気がでる学習
中学生がロボットコンクールに出場
１から９年生の交流⇒学習発表
小学生は、他府県の児童とオンライン学習
中学生は、海外の生徒とオンライン学習
全校で祭り（学習発表、露天）</td><td rowspan="2"></td></tr>
<tr><td colspan="2">地域の人が自由に参加
地域のみんなで学びを作る
地域の先生の授業
地域の方による学習（農業や昔の暮らし）
学校まかせではない教育</td></tr>
</table>

<table>
<tr><th></th><th>開校準備委員会や
地域と一緒に</th><th>学校や教育委員会へ</th><th>専門部会へ</th></tr>
<tr><td rowspan="3">その他</td><td></td><td>みんなが行きたくなる学校
顔を覚える先生
私服日のある学校
タブレット授業は本当に良いのか
探究学習の充実
校外学習を多く
好きなこと、やってみたいことの実現
教員の負担軽減
先生を増やす
朝ごはんを食べられる
生徒会へ児童会研修
事務サポーターの充実
メディアセンターの家具を木製に
読み聞かせスペースなど大事
学校司書の常設化
宇治黄檗学園との交流</td><td rowspan="2"></td></tr>
<tr><td colspan="2">岡崎体育コンサート
地域の人の学び場
先生との交流会
地域あげての夏祭り
左義長など地域との取り組み、フリーランド</td></tr>
<tr><td></td><td colspan="2">北小倉小学校児童の登校距離
通学のサポートを中学生が行う
教材を学校へ置いて帰る
重すぎるカバンの解消</td></tr>
</table>

専門部会の設置について

1．設置要項より

第６条　委員会は委員長が招集し、委員長を中心に運営する。

2　委員会の事務を円滑に行うため、必要な専門部会を置くことができる。

3　委員長の指名により、専門部会に部会長、副部会長を置き、専門部会の運営にあたる。

4　専門部会は委員会の委員の他、委員長が必要と認める者で構成する。

5　委員長は、委員会及び専門部会の会議において、必要と認めるときは、委員以外の者を会議に出席させ、その説明や意見を聴き、又は資料の提出を求めることができる。

6　最初の委員会の招集は、４校校長が行う。

小中一貫校開校に向けた準備のため、以下の専門部会を設置したい。
※他に必要な議論が生じた場合は、新たな専門部会を設ける場合もある。

2．専門部会の内容について

部会名	議論の方向性	短期スケジュール	次期スケジュール
制服部会	制服について 小中一貫校の制服をどのようにするべきか	【年内を目標】 要不要の議論	引き続く議論（年度内目標）
校歌・校章部会	校歌・校章について 小中一貫校の校歌・校章の決め方	【年内を目標】	
こども見守り部会	登下校見守りについての現状と課題について より良い方向性について	【年内を目標】	

3．議論の進め方（熟議）

ステップ１：「議論の方向性」を踏まえて課題等の抽出

資料準備

ステップ２：課題について議論

資料準備

ステップ３：意見まとめ

開校準備委員会 ← 報告 ← 各専門部会

４．専門部会委員構成

		制服部会	校歌・校章部会	こども見守り部会
開校準備委員会委員	各委員			
	委員長・副委員長	１名	―	１名
	校長	１名	１名	１名
外部人材		状況に応じて参加		
市教委（学校改革推進課）		１名	１名	１名

子どもまん中 通信
～保護者と教職員、地域とともに～

第　１　号
子どもまん中委員会
令和６年８月２７日　発行

子どもまん中 委員会って？
～保護者と教職員、地域とともに～

令和５年１０月以降、令和８年４月の小中一貫校の開校に向けて、関係４校のＰＴＡ本部役員や教頭等で開校後のPTA組織について、複数回の意見交換を行ってきました。

意見交換の中で、『開校後のことは、現在ＰＴＡに関わる、全員の方を対象に新委員を公募して検討を進める方が良い』ということとなり、令和６年５月から１１人の公募委員により検討を進めています。

名称決定！

本委員会は、当初、「（仮称）日本一楽しいＰＴＡをみんなでつくろう会」という仮の名称で第１回会議を開催しましたが、第２回会議で、「既存のPTAという枠組みを超えて、子どもをまん中においた組織を改めて考えていこう」という考えにより、「子どもまん中委員会　～保護者と教職員、地域とともに～」という名称に改称しました。本委員会で話し合った内容は、この通信で随時お知らせしていきます。

【第１回】
日時：令和６年５月８日（水）　１９時～
内容：自己紹介
グループワーク
「現状や課題等についての意見交流」

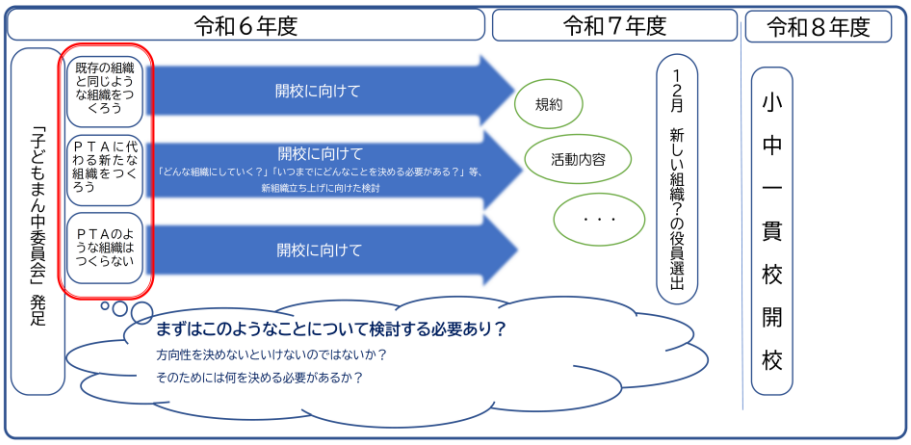
【第２回】
日時：令和６年６月１１日（火）　１９時～
内容：会の名称について
意見交流
「子どもたちのためにできることは？」

【第３回】
日時：令和６年７月９日（火）　１９時～
内容：　『新しい形のPTA』　：芦田校長先生（西小倉小校長）

〔第１回、第２回の意見交流での主な意見〕
- 子どもの環境を整えていくことは大事
- ボランティアでみんなができることを考えては？
- ＰＴＡがなぜ必要なのか知るべきでは？
- ＰＴＡ会員全体に意見を聞くことも必要では？
- さまざまな行事を通して地域の方とふれあうことも大事
- 地域行事等で、就学前の子どもをあずけられる場所があるといい
- 本部役員をしていて、行事や会議などに出席しないといけないことが多く、負担が大きい
- ＰＴＡ等の組織がなくてもイベントはできるのでは？

第３回の内容は次ページ

現在、開校に向けて、「既存のPTAと同じような組織」「PTAに代わる新たな組織」「PTAのような組織なし」等、子どもたちにとって必要なことについて検討しているところです。



芦田校長のお話

※開校と同時に新しいPTAを創設した学校の例
（芦田校長はその学校のいち保護者）

【概要：自身の子どもが通う学校（２つの小学校が統合し、１つの小学校となり中学校の敷地で新たな小中一貫校として開校）の保護者としての体験から】

新たな学校として開校するに際して「PTA活動」についての議論
「これからも今のままでいいのか」 → 従来の形にとらわれない新たな形を議論、検討

『できる時に　できる事を　できる人が』　をコンセプトに
子どものためにできることを　立場は関係なく保護者全員で無理のない範囲で行う

小中一貫校
開 校

新しいPTAの設立
すべての役は立候補制

PTAに何ができるかな？
・行事を見に行くついでに受付の手伝い
・学習補助、校内清掃のボランティア　など

数年やってみると…
・「立候補だけではやっぱり難しい・・・？」
・「でも、従来の選挙で選ぶスタイルでは続かないのでは？」
・「PTAの役員をやってみないと楽しさやメリットが分かりにくい」

現在

・ピンポイントで参加できるような形を工夫してみる
・気楽に関わってみる機会を作る
・経験者の声を広める
・『LINE』や『ZOOM』を活用してみる

開校後もより良い形を模索中！

お話を聞いた後の質疑応答

Q.役員の数は小学校と中学校でどちらかが多いということはありますか？
A.開校当初の役員は既存のPTA役員が多かったため、どちらかというと高学年や中学生の保護者が多かったかもしれませんが、今はそういったことはありません。

Q.役員の数が少ないと余計に負担がかかってしんどくなったのではないですか？
A.「やれることをやる」というスタンスなので、それはなかったと思います。

Q.登校時の見守りはどうしているんですか？
A.この小中一貫校では集団登校をしていないので、いわゆる「地域委員」も存在しません。地域で見守る形（見守りボランティア、自治会等）になっています。

Q.現在計画中の行事はだれが企画していますか？
A.役員会と代表者会で企画しています。以前のPTAでは、親子清掃当番や教室のカーテン洗濯当番等もありましたが、現在は、そうしたことも含め、保護者全体で無理なく活動できることは何かについて、いろいろ考えることを大事にしておられるようです。

学校運営部会組織〔ワーキンググループ〕

○８月２１日の西小倉中学校ブロック（北小倉小含む）教職員合同研修会でワーキンググループを立ち上げ、令和８年の開校に向け、部会ごとに検討を進める。
○主に年３回の合同研修会（次回は 11/29）でワーキンググループごとの会議を行うが、部会によっては別途会議を設定し、検討を行う。
○ファイルの共有や事務連絡は『サイボウズ』や『Microsoft teams』を活用する。
○月１回の準備校長会でワーキンググループの進捗状況等を確認する。
○開校後、スムーズに教育活動を進めるために、小学校においては、運動会、修学旅行、林間学習など学校行事、教科ごとの指導方法、学校の決まり等さまざまなことをすり合わせたり新たに計画したりしていく必要があり、決定したことは全体で共有し、令和７年度から主要な行事等は日程をあわせるようにしていく。

	学校行事・教務	教科領域・研究	生徒指導	特別活動
主な検討事項	◇教育課程 ・年間行事計画 ・時程 ◇校務分掌 ◇通知表 ◇学校要覧	◇各教科領域の 全体年間計画 ◇研究内容 ◇算数・漢字指導法等の統一（小）	◇全体年間計画 ◇いじめ防止 基本方針等 ◇校則・学校のきまり	◇全体年間計画 ◇児童会生徒会 ◇異学年交流 ◇クラブ活動・委員会（小）
第１回内容	○教務 WG の方向性の確認 ○確認事項 ・新しい学校を一からつくるイメージ ・前期、中期、後期のステージ制を意識した小中一貫校ならではの連携	○全体の流れの確認 ○グループごとの交流 ・学力（A・B）　・体育 ・道徳　・英語、外国語	○本ブロックの現状から考える生徒指導方針について ○各校の交流 ・年間計画　・きまり ・教育相談（別室の運用）	○各校特別活動の様子を交流 ○特別活動目標について 【キーワード】 個性の伸長、集団の一員、集団的・実践的・自主的
	特別支援教育	学校図書館	保健食育	学校総務
主な検討事項	◇特別支援教育年間計画 ◇特別支援教育推進計画 ◇通級指導教室の紹介	◇全体年間計画 ◇読書推進計画 ◇図書館統合	◇全体年間計画 ◇保健指導 ◇健診・学校医 ◇食育 ◇食物アレルギー対応	◇保護者負担金・徴収金等 ◇備品管理 ◇文書管理
第１回内容	○特別支援教育の目標 ○年間指導計画 ・日常生活の指導・生活単元学習・自立活動・他校との交流）の検討 ○スクールガイドの作成 ○特別支援教育推進計画の作成	○一貫校の読書推進計画を作成する手順の確認 ・teams にて目標を投稿する ・質問等あれば、teams で ○各校の読書推進計画について	○保健食育 WG の方向性について ○学園の学校保健計画と学校安全計画について ○確認事項 ・４校の実態から、学園の教育目標とめざす児童生徒像を基に、新しい時代の健康教育にふさわしい内容を考える	○諸費について ・振替日の統一 ・積立金 ○予算事務について ○保存文書について